



発表会に取り組む姿

一か月に一度ある、お誕生日会。いつもは担当の学年の先生方が中心となり、その月の年長クラスのお誕生児の子と一緒に出し物をし、お誕生会を進めています。先月のお誕生日会は、ぱおちゃんルーム（園開放）のお母さんたちの担当でした。この日の為にはぱおちゃんルームのお母さんたちは、年末から何回か集まって、司会進行、劇のセリフ、動き、歌や歌の振付けなど園開放の担当の保育士と一緒に練習していました。いよいよ本番の日。お母さんたちは子どもたちの前で緊張しながらも、笑顔で大きな声で、それぞれの役を演じて下さいました。保育士も顔負けなくらいの出来栄で素敵でした。5人の年長クラスの誕生児も、お母さんと一緒にセリフを言ったり、動作を付けて劇に参加します。ひとり病気で来れなくなったお母さんがおられ、子どもとのペアのお母さんが足りませんでした。園開放の先生が「1ちゃん、一人でもセリフ言えるかしら。先生は1ちゃんならできると思うんだけど」とお願いすると「だいじょうぶよ！ひとりでやってみる」と1ちゃん。堂々と大きな声で一人でセリフを言い演じてくれました。他の年長の子どもたちも今日はぼくたち、私たちが頑張るんだという気持ちで、いつも以上に責任を持ってそして楽しそうに、劇を披露してくれました。子どもは任されることでいつも以上の力をだしてくれるんだと感心させられる誕生会でした。その日の夕方、隣の公園でお子さんと遊んでいたぱおちゃんルームのお母さんに「きょうのお誕生会、たのしかったよ。ありがとう。」と声をかけてくれた園児がいたようで、園開放のおかあさんが「とっても嬉しかったです」と喜んでおられました。ありがたい気持ちを素直に言える子どもに本当に嬉しく思いましたし、園開放の素敵なお母さんたちに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今幼児クラスの子どもたちは発表会に向かって劇、表現、歌、合奏に取り組んでいます。練習を終えてお部屋に帰ると、「きょうもたのしかった～」と満足している子もいます。これは乳児期から楽しく

歌ったり、ごっこあそびを楽しみ、あそびの延長線上に発表会があるからだと思います。年少さんは大好きな絵本をまねっこして遊んでいたことが、自然に劇あそびにつながっていきました。年中さん年長さんの表現では、縄跳び・平均台・跳び箱、ボールや鉄棒等に挑戦します。舞台上できなければ、悔しい思いをし、「園庭で練習する！！」と何回も挑戦している子もいます。今日できなかったことを自分の目標にし、明日はもっとうまくできるように、粘り強く取り組み、日々練習内容は変わり進歩しています。ほとんどの子は、発表会への取り組みを楽しみに頑張っています。でもなかなか自信の持てない子も中にはいます。時には緊張のあまり部屋からホールへ行けない子もいました。また途中で集中力が切れて、おふざけをしてしまう子、注意すればますますきれてしまう子。お友だちにちょっかいを出してしまう子もいました。今どうするべきなのか、自分で状況判断できるようになるといいですね。

今年度は子どもの気づきや興味のあるあそびを保育に取り入れ、選択し集中できる環境作りに努めてまいりました。乳児期からしっかりかわいがられ、いろんなことに興味の持てる子、自分の身の回りのことは自分でできるという基本的な生活習慣が身につけている子は、何に対しても集中力があり、それは発表会の取り組みでも感じました。

いよいよ生活発表会です。みんなの中の一人として大切な役を精一杯発揮できるよう、側にいる保育者も一人ひとりの状況に寄り添って応援していきます。

誕生会で見せてくれた、自分から頑張る子どもたちのように、自分の力を精一杯発揮してくれることを願っています。当日は保護者の方に見て頂けることを楽しみにしています。どうか温かく見守ってあげてください。そしてしっかり褒めてあげてくださいね。

くまの・みらい保育園 園長



まめまき



節分は1年の節目とされ、新しい年を迎える前に厄（鬼）を払う行事をします。「鬼は外」「福は内」と叫んで豆をまき、鬼を追い出し、福が出て行かないように戸を閉めて、年の数だけ豆を食べます。「みんなが1年間元気にすごせますように」とお祈りしましょう。

保育園でも豆まきをしますが、自分の心の中にある“ちょっぴり意地悪虫”“泣き虫鬼”“怒りんぼ鬼”などを追い出して、心も体も元気な子どもに成長してくれることを願っています。



立春

冬至と春分の間、2月4日ごろにあたります。

立春は、冬と春に分かれる節目の日である「節分」の翌日で、冬の寒さが終わり、暖かい春が始まるとされる日です。言い換えると、春の初日です。



小学校体験入学

就学を間近に控え、くまの町内の各小学校では、体験入学を計画されています。

内容は、各学校によりさまざまですが、子どもたちは、ますます就学への期待を膨らませることでしよう。

お知らせ

毎年コンサートや、講演会を開催し、その一部を保育園や災害で被災した方々に寄付をして奉仕活動をされている「国際ソロプチミスト」より、災害義援金として、147200円いただきました。0・1歳用の避難車（バギー）を買わせていただきたいと思います。大切に使用してもらいます。

お願い

＊ テレビのニュースでもよく駐車で悲しい事故を耳にします。最近、車まで、お子さんだけが走って行ったり、子どもを遊ばせたまま立ち話をされている方がおられます。大切な命です。駐車で他のお子さんにも十分注意をして運転しましょう。お迎え後はすぐにお家へ帰りましょう。

